



MAINICHI



新毎日

9月5日(土)

2015年(平成27年)

2015年(平成27年)9月5日(土)

14新版○

社会

24

小5 学会で巻き貝研究発表

札幌市内で開かれて
いる日本ベントス(底
生生物)学会で、青森
県むつ市の小学5年の
女子児童2人が4日、
同市に生息する準絶滅
危惧種の巻き貝「ウミ
ニナ」の研究発表を行
った。同学会で小学生
が発表するのは初めて
で、研究者から「レベ
ルが高い」と上々の評
価を受けた。

発表したのは、同市
立川内小学校の原田愛
子さん(10)と作田美蘭
さん(10)。会場に研究
成果をまとめたポスタ
ーを張り出し足を止め
た研究者や大学生らを
前に堂々と説明した。

同市の人工海浜で

札幌で開催 青森の女兒2人「いい経験に」



ウミニナの研究成果について説明する
原田愛子さん(中央)と作田美蘭さん
(左から2人目)＝札幌市北区で4日

は、2007年ごろか
ら全長5〜45mmほどの
ウミニナの生息が確認
され、分布の北限とみ
られている。

原田さんら児童23人
は4年生だった昨年、
授業の一環として生息
調査に取り組んだ。そ
の結果、夏には海浜一
帯に広く分布している
が、冬には波打ち際に
多く分布することが分
かった。雪が降る地域
で寒さを避けるためと
みられる。

同学会実行委員長の
門谷茂・北海道大教授
(沿岸海洋学)は「前例
がなかったが、学問的
にもしっかりと内容
だったので受け入れる
ことにした」と話して
いる。作田さんは「研究
者から質問されて難し
かったけど、いい経験
になった」、原田さんは
「自信を持って発表で
きた」と笑顔で話した。

【三股智子、写真も】